

「使ってほしい」を伝える100の方法

著者である日高庸晴教授が研究班で制作した教材を、本会がリデザインして誕生した「ザ・100アンサーズ」。ここでは、本教材の特長や開発の背景、実際の活用事例についてご紹介いたします。

ザ・100アンサーズ～調査研究から生まれた 実用性の高いフレーズたち～

HIV感染予防や性感染症予防にコンドームの使用は有効ですが、きちんと使用されているかという、必ずしもそうではありません。セックスに関わる予防行動は、一人でできるものではなく、相手にその気がなければうまくいきません。「パートナーに使ってほしいけれど、どう伝えれば良いかわからない…」そんな悩みを抱えている方は決して少なくないでしょう。

本教材は、コンドームの使用を促すために有効だった実際の行動や声掛けを100個に厳選し、パートナーとの関係性やシチュエーションによって使い分けできるように整理した、実践的な内容となっています。



上記は、男性同士でメッセージを伝える際に用いてほしい教材です。日高教授の研究班が実施した調査研究で、約400人を対象にアンケートをとり、そこで得られた「うまく使用してもらえた」事例を下記のカテゴリーに分類しました。

- ▶ストレートに意思表示 ▶少し理由も添えて提案
- ▶はっきりと態度表明 ▶行動で示す
- ▶さりげない工夫や配慮 ▶セックスの前に確認
- ▶ゴムをつけること自体を楽しむ

本教材は現在、HIVや性感染症の検査の場面、保健所などでご使用いただいております。「実際にこういった言葉掛けをしている人がいるんだけど、あなたにも使えるものはある？」と対象者の方に保健師が

問い掛けてみると、

- 「これなら使えるかな」
- 「割とリアルなセリフですね」
- などのお声をいただくことがあるそうです。

当事者にはこうした教材が助けになるシーンが…

コンドームを使用する場面が訪れたとき、とっさには言葉が出てこないことがあります。事前に本教材に目を通していただき、自分に合った行動や言葉を見つけておくと、いざというときに自分の言葉として相手に伝えることができます。

また、この教材を一通り読んでいただくことで、

- 想定しておくべき落としどころ
- リハーサルをしておく必要性
- 前もって準備しておくことで得られる安心感
- 言い出しやすいフレーズ
- 自分が言い出しやすい時、人、場面／逆に言い出しにくい時、人、場面

といったことにも気付くことができます。そうして“気付く”ことこそが、予防行動につなげる上で重要になります。

“女子のための”ザ・100アンサーズ

2つ目は、女性が避妊や性感染症予防に役立てていただくための100アンサーズです。男性版と同様に研究でアンケートをとり、100のフレーズを選びました。

項目分けは、

- ▶はっきりとお断り ▶言い方や雰囲気工夫する
- ▶ストレートに意思表示 ▶妊娠のことを理由にする
- ▶自分から積極的に行動 ▶セックスの前に準備
- ▶初回にビシッと

となっています。本教材には、「はっきりと…」「ストレートに…」という項目がある一方で、甘えた感じで、やさしく伝えるセリフも入っています。「ムードを壊したくない」「パートナーに嫌われたくない」という思いから、使用を促すこと自体にためらいを感じる方は、こうした言葉掛けの方が使いやすいかもしれません。



女性が自分自身を守るために役立てて

本来、男性が率先してコンドームを使っていれば、女性は使用を促さずに済みます。しかし、意識面でも知識面でも、コンドームを使用することが当たり前となっているとは言い難いのが現状です。男性側の認識が十分でない以上、パートナー任せにせず、女性自身が上手に意思表示していくことが大切です。本教材の行動や言葉が多くの方にご参考いただき、お役に立てれば幸いです。

ご活用いただいている方にお話を伺いました!

「わたカフェ」社会福祉士 福田 愛さん

15～24歳の女性への支援と居場所提供事業を行っている「わたカフェ」（東京都豊島区、運営：公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン）には、情報設置コーナーがあり、性に関する教材をはじめ、さまざまな資料を置いています。そこに「女子のためのザ・100アンサーズ」を配架し、利用者から妊娠や避妊に関する相談があった場合には、手渡しでご紹介をしています。

受け取った利用者からは「目で見てわかりやすい」「自分がどのようなタイプ（傾向）なのかわかった」「パートナーに自分の意思を伝えづらい時に参考にしたい」といったお声をいただいています。

性的同意について、自身の意見を伝えてよいのか戸惑いを感じている若年層にとって、具体的なアドバイスが紹介され、カラフルなイラスト入りの同教材は、有意義な情報源だと思います。

204299 ザ・100アンサーズ Another ver.

204298 女子のための ザ・100アンサーズ

【仕様】 A3判/3つ折り+2つ折り/オールカラー
【定価】 55円(税抜価格50円) ※多数割引はありません
【著者】 宝塚大学看護学部教授 日高庸晴

シチュエーションごと
に使えるフレーズ

「これなら私も言える」が
きっと見つかる

写真を用いた
スタイリッシュな
デザイン

親しみやすい
イラストと色づかい

著者略歴

京都大学大学院医学研究科で博士号（社会健康医学）取得。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員、公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデントなどを経て現職。厚生労働省・法務省・人事院や自治体の研修講師を多数務める。新聞やテレビなどマスコミ出演多数。

関連教材のご紹介

～性の多様性を実践的に学ぶ6つの物語～ レインボーストーリーズ

【仕様】 DVD(各巻約20～25分)
【定価】 各巻49,500円(税抜価格45,000円)
(学校・ライブラリー共通価格)
【監修】 宝塚大学看護学部教授 日高庸晴

●LGBTsと医療(全2巻)

- 080165 ①患者とのコミュニケーション
- 080166 ②誰もが安心して通える病院づくり

●LGBTsと社会(全4巻)

- 080167 ①職場～声に出せないハラスメント～
- 080168 ②家族～自分の子どもが当事者だったら～
- 080169 ③公共機関～誰もが安心して相談できる窓口へ～
- 080170 ④地域社会～ありのまままで過ごせるコミュニティ～

ご注文・お見積り・見本送付のご依頼は、本誌同封の送付状裏面の申込書をご利用ください。その他の教材は保健指導マーケットでもご覧いただけます (https://hsmk.jp/)

2022年3月に掲載した第1回に続き WEBで連載中の「教室マルトリ」をご紹介します

教育関係以外の方も必見!

一人より二人。学校が連携して動くには

教師の仕事は、本来業務とかけ離れたことが多い — “子どもとの関わり” ファーストの学校に

グレーバー氏が提唱した「ブルシット・ジョブ」の5類型をご存じの方はいらっしゃるでしょうか(図1)。

子どもたちにとって還元されるものは皆無に等しい状況です。学校現場に直接的に関係していない立場の人たち自身の見栄・沽券・保身・不健全なニーズ、その他の何かを満たすために行われるような調査や、任意としながらほぼ義務付けられたようなアンケートの実施は今すぐにも見直すべきだと思います。

①取り巻きは、誰かを偉そうに見せる仕事を指します。例えば教育行政の立場から現場の状況等を把握するためのアンケート回答が事あるごとに求められます。また、各学校が保護者や教職員に「学校評価アンケート」の提出を求めることもあります。通常、アンケートの提出は任意であり、その回収率は30%前後です。しかし、学校現場では、常に100%に近づけることを求められます。この時点で上からの圧がかかっていると云っても過言ではありません。「上が言えば下は動く」的なシステムがはっきりと存在しています。

②脅しも同じことが言えます。学校はPDCAのP(計画)にとらわれやすい組織です。指導の計画、学級経営の計画、行事の計画、管理職との面接のための計画などさまざまです。これらの計画の多くには所定の様式があります。様式の枠に空白があると、その空白を埋めるようにという上からの指示が出されることがあります。分かりやすくシンプルにという意図よりも、枠を埋め切ることのほうが優先度が高いとされてしまう—これを「形式主義」といいます。ささいなことかもしれませんが、こうしたことを一つずつ見直していかなければ、本来業務である「子ども

図1 ブルシット・ジョブの5類型

- 取り巻き：誰かを偉そうに見せる、もしくは偉そうな気分を味わわせるだけのためにある仕事。
- 脅し：脅迫的な意味をもつ仕事。
- 尻ぬぐい：目上の人間の不注意や無能さが引き起こしたトラブルを原状復帰させるのに使う労力。
- 見せかけ：実際には、あまりやっていないことをさもやっているように主張するだけの「名目上」の仕事。
- 監視：Bullshit Jobsをさらに監督する目的の仕事。

グレーバー・酒井訳、2020を参考に作成(学校現場に合わせて一部改変)

教師間の連携・協力のために気を付けることは? — 「雑・相(ざつ・そう)」で雰囲気づくり

学校現場で最も大切なのは、子どもに関するポジティブな話題が日常の会話・対話の中で飛び交うことです。学校は子どもが集まる場ですから、予想外・想定外がつきものです。普段から「想定外を楽しもう」という雰囲気に満ちあふれていれば、たとえ何らかのアクシデントが起こったときにも「今の雰囲気、指導はどうだったかな」「Aくんの表情は微妙だったから、もう少し●●したほうがよかったかもしれない」と落ち着いた、前向きな会話が交わされるはず。

ではないでしょうか。(中略) 教師の仕事は、将来を担う子どもたちの未来を描く仕事です。夢や希望を持って働ける、こういった仕事はなかなかありません。お互いを思いやって、いい雰囲気の職場づくりをしていくことは、もっと明るい未来を築くことにつながっていくと言えるのではないのでしょうか。

こそそ話や、ある程度の年齢の人たちが群れるような姿を示すのもやめたほうがよいでしょう。もちろん、特定の人とだけ共有したい話題もあるとは思いますが、基本はオープンで前向きな会話・対話です。不思議なもので、教師の雰囲気がよい学年は、子どもたちも穏やかで自信に満ちているような雰囲気になっていきます。

今回の冒頭でお伝えした通り、今の学校現場の仕事はブルシット・ジョブが折り重なって、もういっぱいいっぱい状態だと思います。(中略) こうした状況を見直していくためにも、雑談が大切だと思います。世間一般に仕事は「報・連・相(ほう・れん・そう)」が大事だとよくいわれます。学校現場も、それを求める風潮がどんどん強

教師だけでなく、支援員や介助員・学生ボランティアを含めた大人の会話の中で「ありがとう」という感謝の言葉や「お疲れさま」「大丈夫」「お互いさま」という互いを気遣う言葉が日常的に交わされることもとても大切です。

非常に残念なことですが、実際の学校現場には「ありがとう」というねぎらいや感謝の一言すら言えない管理職が一定数います。また、廊下ですれ違う時に「お疲れ様です」と伝えても無言のまま「リアクション」の教師もいます。それで人がついてくると考えているのが不思議なくらいです。学校現場では、もっと大人同士がお互いに感謝、リスペクトし合うようにすることが大切な

新作健康メモ

「0・1歳頃」「2～4歳頃」に続く第3弾! 小学校編も鋭意作成中!

200454

5・6歳頃 1年生になる準備

総合病院国保旭中央病院 小児科 医師 仙田昌義
言語聴覚士 宇井 円/金屋麻衣
公認心理師 富岡美帆/下地里枝

【定価】1,430円(税抜価格1,300円) ※名入れ印刷についてはお問い合わせください。
【仕様】A4判/両面カラー/1冊50枚組

ご注文・お見積り・見本送付のご依頼は、本誌同封の送付状裏面の申込書をご利用ください。その他の教材は保健指導マーケットでもご覧いただけます (https://hsmk.jp/)

これって教室マルトリ? 教師も子どもも気持ちよく過ごせる教室へ

“自分がやっている行為=教室マルトリ” それに気付いてない先生にどうアプローチをしたらいいのでしょうか?

おそらく先生たちは気付いていないのではありません。心の中で「自分が教室マルトリをしていて、本当はこのままではいけない」と思いながらも、どこかで認めたくない、あるいは引き返せないのだらうと思います。(中略) 自分の圧が柔らくなってきたときに、子どもたちが勝手気ままに振る舞いはじめ、荒れてしまうかも…という不安があります。その一方で「あの先生に任せておけば統率力があるから」と周りから認められているようなところもあり、そんな自分を今更変えることはできない、と苦しんでいる部分もあります。もう引き返しどころを見失っているのです。

この「教師が自分自身を変えていく」という道は、とても険しいです。「現役担任の時には強面で通っていたのに、管理職になって子どもたちから一歩引いた立場になって初めて、子どもを見る目が優しくなれた」と話す校長先生がいるくらいです。自分自身の在り方を変えていくためには、自分との対話を通して、「このままでいいの?」や「では、どのような方向性で子どもと向き合うのがよいのか」と改めて自分を見つめ直していく必要があります。

教師が見ている子どもの姿は、自己の経験や思い込みのフィルターがかかってしまうことが多々あります。そのため、教室マルトリの現状を打開していくには、まずそのフィルターを外していくことも大事です。例えば、先輩教師との出会いが自分の指導に与える影響の大きさについて考えてみましょう。経験が浅い若い頃に「あの子は努



かわかみ やすのり 川上 康則さん インタビュー

2001年より養護学校、特別支援学校で教員を勤め、今年で22年目。東京都立矢口特別支援学校主任教諭。中学部3年の学年主任。特別支援教育コーディネーターとして小・中・高の巡回相談を10年間続け、通常学級の学級経営や授業づくり、子ども理解のサポートも行ってきた。公認心理師、臨床発達心理士。

力不足でやる気がない」「あの親は子どもをちゃんと見ていない、学校に協力的でない」と先輩たちが周りで言っていたとしたら、それが自分の記憶の中に経験や思い込みとして刷り込まれてしまうでしょう。また、姿勢が悪い子どもを見て「態度が悪い、意欲が低い」と決めつけてしまうケースも、同じように先輩教師からの子ども観を引き継いでレッテル貼りです。姿勢の崩れやすい子は、「固有感覚(筋肉の張り具合や関節の角度についての情報を脳に伝える感覚)」が低反応であるがゆえに、姿勢を保持することに多くのエネルギーを使う必要があります。決して、態度や意欲や気持ちの問題ではないのです。このように、私たちが見ている世界は誤謬(ごびゅう)に包まれているところがあります。常に新しい視点で子どもを理解していくことを目指さなければ、このようなフィルターに振り回されてしまうのです。(フルバージョンはWEBにて公開中)

子どもと関わる時、クラスづくりをする時、子どもを追い込んだり、自分自身が追い詰められたりすることは常に身近に付きまとう課題であり、そこから脱却しなければ、教室マルトリはいつまでたってもなくなることはありません。

まずは教師自身が自分に温かい気持ちを保ち、その上で周囲も温かい雰囲気や包み込み、常に機嫌よく子どもたちと接して欲しいと切に願います。

「教室マルトリートメント」(以下、教室マルトリ)

学校現場において先生一人ひとりのかわりの中で本来好ましくない、行うべきではない、できれば避けたいかわりすべてのこと

教室マルトリートメント (Class maltreatment = 教室で繰り返られる不適切な関わり)

①は、「体罰」として
②は、「わいせつ行為」として
違法行為であることが知られている

【処分の対象にはなっていないけれども注目すべき】

③ネグレクトに類似した指導

- 励ましや賞賛などをしない
- 特定の子の指名を選ばない
- 支援が必要な子の合理的配慮を行わない
- 必要な授業準備を怠る
- 取り組むべきクラスの課題を放置する
- 支援が必要な子を支援員や介助員に「丸投げ」
- 「勝手にすれば」「さよなら」等の見捨て言葉等

④心理的虐待に類似した指導

- 威圧的・高圧的な指導、力で抑える指導
- 子どもが自信をなくすような強い叱責
- 子ども的人格を尊重しない言動
- 子ども主体的な行動を妨げるような指導等

「指導力・統率力がある」という勘違いにつながることも

第1～3回のフルバージョンは JFPA情報チャンネル でお読みいただけます

第1回 知らないうちに!? 実は教室でマルトリートメント、起きています

第2回 これって教室マルトリ? 教師も子どもも気持ちよく過ごせる教室へ

第3回 一人より二人。学校が連携して動くには

アクセスはこちら <https://www.jfpa.or.jp/info-channel/>

● 予告

第4回 教室マルトリ、分かったら信頼できる人に相談を(8月頃公開予定)

第1回 教育・保育のアップデートカレッジ～教育現場の事故防止～開催のご案内

子どもたちの怪我や病気を未然に防ぐために、指導のあり方を見直し、取り組むべき課題や今できることを考えていくセミナーです。

講師(敬称略)

内田 良
川上康則

詳細・お申し込みはこちら

[申込締切: 7/22(金)]

本会メールマガジンでは第4回の公開情報をはじめ、セミナーや教材の最新情報を配信いたします。ご希望の方は右記QRコードよりご登録をお願いいたします。

ハイブリッド開催

第8回

性の多様性を学ぶセミナーのご案内

LGBTsを取り巻く環境は日々変化を続けており、同性パートナーシップ制度を導入する自治体は2022年4月現在で200以上となり、人口普及率はついに50%を超えました。「ジェンダー平等の実現」として、いま注目のSDGs(目標5)にも掲げられている通り、今後この動きはより拡大を見せると考えられます。

一方、当事者意識が芽生える学齢期を受け持つ教育現場においては、非常に重要な働きを担っているにもかかわらず、その実情があまり知られていません。第8回目の本セミナーでは、LGBTsの子を持つ親を対象とした最新の調査や、2019年度に

日高教授が実施した全国約2.2万人の教員を対象にした調査結果などをもとに、主にLGBTsの学齢期における出来事や、性的指向と性自認の多様性に関する取り組みについて解説いただきます。

今回は日高教授と直接交流をすることができる会場開催と、遠方からでも参加できるオンライン開催をご用意いたしました。教育関係の方々に限らず、LGBTsの課題に取り組むすべての方にお勧めできる内容となっておりますので、ぜひご受講ください。

講師

日高 庸晴 (宝塚大学看護学部 教授)

開催方法・日時

〈会場開催/場所〉全水道会館(東京都文京区)

2022年10月22日(土)10:30~

〈録画配信/WEB〉

2022年11月4日(金)正午~11月13日(日)まで

受講料

税込11,000円 ※会場開催受講者は録画配信も視聴可能

対象者

教員、養護教諭、看護教員、助産師、保健師、看護師、医師、薬剤師、企業の総務・人事担当者、人権擁護委員など

申込方法

本会ホームページ セミナー一覧よりお申し込みください。

●申込締切日/2022年10月3日(月)



スマホでお申し込みの方はこちらから

●共通プログラム

講義① LGBTsのライフイベントの現状

講義② 性的指向と性自認の多様性に関する教員の意識と取り組みの実際

講義③ 『LGBTsの子を持つ親の調査』をひも解く

\\ 受講特典 /

日高教授著作・監修教材のプレゼントや、お得に購入できるキャンペーンをご用意！会場開催参加者限定の特典も？

JFPA思春期保健相談士®認定カード更新対象セミナー(1カウント)

日本助産評価機構「アドバンス助産師」更新のための選択研修該当セミナー

第106回 受胎調節実地指導員認定講習会 開催決定!

保健師・助産師・看護師の方が「受胎調節実地指導員」の資格を取得するための講習会です。

講義内容は、「家族計画の歴史」「女性の権利」「セクシュアリティ」「不妊」「避妊」「中絶」「性感感染症」「関係法規」まで多岐にわたります。養育環境や教育環境によって、性の正しい知識の習得が左右されることのないよう、性教育へのニーズは一層高まっています。約40時間の講義で集中的に学び、専門性の高い本資格を携え日々の業務にお役立てください。

●開催方法・日時

重要 下記録画配信とライブ配信を両方ご参加いただくことが必須となります

〈録画配信〉2022年10月21日(金)~11月4日(金)まで(講義時間約33時間)

※各講義受講後に試験を行います ※期間内はいつでも何回でも視聴可能

〈ライブ配信〉2022年11月5日(土) 9時00分~17時20分

※ZOOMを用いてグループ討議などを行います

●受講料: 税込55,000円

●対象者: 保健師、助産師、看護師のいずれかの有資格者に限る

●申込方法: 本会ホームページ セミナー一覧よりお申し込みください

申込締切日/2022年9月22日(木)

その他プログラム等の詳細につきましては、本会セミナーページにてご確認ください



スマホでお申し込みの方はこちらから

資格認定を受けない方のご受講も可能です!

「能力向上・知識習得のために受講したい」というご要望にお応えし、既に資格をお持ちの方や資格認定対象ではない方も、収録配信講義のご受講が可能となりました。(試験・ライブ配信除く)

●受講料: 税込42,350円

●対象者: 保健師、助産師、看護師の他、准看護師、薬剤師、医師、教員などの専門職

※申込方法・申込締切日は上記と同様です



「受胎調節指導用テキスト」のご紹介

●定価: 税込3,850円(税抜価格3,500円)

●仕様: B5判/並製本/リズムダイアル付き



本会の「教材・備品カタログ」を無料で差し上げます。ご希望の方は左記QRコードよりお申し込みください。